事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	議会活動事業					**事業通番**	4452
						開始年度	令和3年度
総合計画体系	**政策№**	7	**政策名**	町民に信頼される行政の推進		**終了年度**	--
	施策№	7-3	**施策名**	町民参加の推進		**担当課名**	議会事務局
予算科目	**会計**	一般会計	**款**	議会費		**担当係名**	総務係
	項	議会費	**目**	議会費		**重点プロジェクト**	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町議会基本条例第１３条 会津美里町議会基本条例第１６条
事務事業の概要	議会活動として必要な会議等への出席、陳情・要望活動への参加、議会だよりの発行、並びに資質・政策立案の能力向上を図るための視察研修を行う。また、図書・消耗品を整備し、スムーズな議会活動に備える。
対象（誰、何を）	①町議会議員 ②町民
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①資質及び政策立案能力が高まる。 ②議会活動や町民の意見、要望に対する対応等を知ることができる。
成果の考え方	①政策提言等の件数 ②議会だよりの発行回数

【成果指標】		単位
A	政策提言等の件数	件
B	議会だよりの発行回数	回

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	1,596	1,580			
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	1,596	1,580			

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	2	2			
	2	1			
B	4	4			
	4	4			

（3）活動実績及び成果

活動実績	①決算特別委員会における次年度事業に向けての提言書を提出した。 ②議会だよりを４回発行した。
成果	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、視察研修は実施できなかったため提言につなげることはできなかったが、決算特別委員会での質疑をとおし、次年度の予算化に向けた重要事項について、例年に比べより詳細に提言することができた。 ②当初計画のとおり発行することができた。

3．最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） 行政視察研修の成果を広く共有化していく必要がある。
コストの方向性	現状維持	（理由） 行政バス利用による距離・日程の調整を行っている。
今後の方向性	生産性改善	（理由） 情報の共有化を図ることにより、全体の能力向上を目指す。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	広報広聴事業				事業通番	4476
					開始年度	令和3年度
総合計画体系	政策№	7	政策名	町民に信頼される行政の推進	終了年度	--
	施策№	7-3	施策名	町民参加の推進	担当課名	政策財政課
予算科目	会計	一般会計	款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費	目	広報広聴費	重点プロジェクト	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町町政広報に関する規則、会津美里町情報セキュリティーポリシー、会津美里町公式ホームページの電子記事に関する要綱
事務事業の概要	町民に町の情報を提供するため、広報紙を毎月発行し、自治区長を通じて町内各戸に配布するほか、町のホームページやふるさとＣＭを作成し、町内外に行政情報を発信する。 令和３年度からは、会津大学 短期大学部と連携した「効率的かつ効果的な情報発信」の調査研究における提言に基づいた取組を実施する。
対象（誰、何を）	①町民 ②町内外の方
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①広報紙により、必要な町の情報を得られる。 ②ホームページにより、必要な町の情報を得られる。
成果の考え方	①広報紙の発行は町民への行政情報提供を目的としていることから、町民が広報紙から十分に情報を得られていると思うことが最終的な成果になると捉え、Aの指標を設定する。 ②町ホームページは、町内外の方がタイムリーに必要な情報を得られるツールであることから、町ホームページから十分に情報が得られていると思うことが最終的な成果になると捉え、Ｂの指標を設定する。

【成果指標】		単位
A	「広報紙による情報提供について、必要な情報が役場から十分に提供されている」と答えた町民の割合	%
B	「ホームページによる情報提供について、必要な情報が役場から十分に提供されている」と答えた町民の割合	%

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	5,978	17,773			
国庫支出金	35	11,000			
県支出金	302	337			
地方債					
その他	590	345			
一般財源	5,051	6,091			

（2）指標の推移

上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	90	90			
	85.1	85.6			
B	70	70			
	64.7	53.6			

（3）活動実績及び成果

活動実績	・広報紙を月1回の発行とし情報を整理した。申請や応募など期限のある記事をまとめて最初の方に配置するなど構成を工夫した。高校生参加企画や子育て、除雪など近年取り上げていない内容の特集記事作成に努めた。 ・ホームページのリニューアルを行った。新システムの仕様を現状の課題を踏まえて設定した。 ・LINEによる情報発信件数を増やした。SNSを活用した情報発信に関するアンケート調査を実施した。 ・会津西陵高校と共同でふるさとCMを制作した。・町観光協会との共催によるフォトコンテストを実施した。
成果	広報紙は、読む方にとってわかりやすく、必要な情報が取得しやすくなった。ホームページは、閲覧者にとって見やすく情報を探しやすいレイアウト・階層構成となった。職員のページ編集作業が効率化された。LINEは、イベント等の情報発信が増えた。アンケート調査から住民の方が求めている情報や、適切な情報発信の頻度・時間帯を把握することができた。 ふるさとCMは、高校生と共同でCMを制作したことにより、若い世代の関心を得て町の魅力を発信することができた。フォトコンテストは、SNSやポスター等で町内外の方に風景等の魅力を発信することができた。

3．最終評価

成果の方向性	拡充	（理由） 町公式ホームページのリニューアルが完了し、今後は町公式LINEとの相互連携や発信内容等を検討し、より効果的な情報発信に努める。
コストの方向性	縮小	（理由） ホームページのリニューアル事業が完了し、今後は維持管理のコストとなることから、縮小とする。
今後の方向性	協働化改善	（理由） 広報紙は、町民アンケートの結果を踏まえた内容の精査を行い、また、リニューアルされたホームページにおいては、SNSや広報紙との相互連携を図り、より効果的な情報発信に努める。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	町民参加推進事業			**事業通番**	5110
				開始年度	令和3年度
総合計画体系	**政策№** 7	**政策名**	町民に信頼される行政の推進	**終了年度**	--
	施策№ 7-3	**施策名**	町民参加の推進	**担当課名**	政策財政課
予算科目	**会計** 一般会計	**款**	総務費	**担当係名**	政策企画係
	項 総務管理費	**目**	企画費	**重点プロジェクト**	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町みんなの声をまちづくりにいかす条例
事務事業の概要	みんなの声をまちづくりにいかす条例に基づく、町民参加による検討会議、町民懇談会、パブリックコメントなどの町民参加を推進する。また、町民参加推進会議において、条例に基づき適正に実施されているかを協議するとともに、さらなる町民参加を推進するための取組についての検討を行う。
対象（誰、何を）	①町民 ②行政活動への町民参加
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	①町民参加の制度を普及させる。 ②行政活動への町民参加を推進する。
成果の考え方	①町民の声を活かした町民主体のより良いまちづくりを実現するため、町民参加制度を普及させ、町民参加の機会があると考える町民の割合を成果として、Ａの指標を設定する。 ②行政活動への町民参加を推進するため、町民参加手続きによる町民懇談会に参加した人数を成果とし、Ｂの指標を設定する。

【成果指標】		単位
A	まちづくりに対して意見を言う機会があると考える町民の割合	%
B	町民懇談会の平均参加人数	人

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	50	47			
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	50	47			

（2）指標の推移 上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	45	45			
	43.3	43.2			
B	10	10			
	12.3	20			

（3）活動実績及び成果

活動実績	・条例に基づき、適正な運用と町民参加を推進するため、町民参加推進会議を2回開催した。 ・６件の町民参加手続きを実施した。また、町民懇談会を７回開催し、140名の方が参加された。パブリックコメントを２回実施し、１件の意見が集まった。 ・町民参加推進会議について町ホームページに掲載するとともに、町民参加手続実施時にはLINEを活用した周知を行い積極的に参加を呼び掛けた。
成果	・町民参加推進会議において町民参加の推進を図る取組について協議検討を行い、広報紙、ホームページ、LINEによる情報発信を行い町民の意識向上を図った。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	**（理由）** 町民参加推進会議において、町民参加の推進を図るため、事業の取組みや情報の発信等について協議検討を行う。
コストの方向性	現状維持	**（理由）** 最小限の経費で実施しているため現状を維持する。
今後の方向性	現状維持	**（理由）** 町民参加の推進を図るため、幅広い層の町民が参加しやすい環境整備や効果的な情報発信に努める。

事務事業 事後評価シート（令和4年度実施事業）

事務事業名	選挙管理委員会運営事業				**事業通番**	5562
					開始年度	令和3年度
総合計画体系	**政策№**	7	**政策名**	町民に信頼される行政の推進	**終了年度**	--
	施策№	7-3	**施策名**	町民参加の推進	**担当課名**	総務課
予算科目	**会計**	一般会計	**款**	総務費	**担当係名**	総務係
	項	選挙費	**目**	選挙管理委員会費	**重点プロジェクト**	

1．事業の概要

法令根拠、条例等	公職選挙法 会津美里町選挙管理委員会規程 会津美里町白バラ会補助金交付要綱
事務事業の概要	【選挙管理委員会】 選挙に関する事務及び公職選挙法に規定された事務を行う。 （選挙管理委員会委員任期）令和3年12月26日から令和7年12月25日まで 【白バラ会】 明るい選挙の推進していくため、会津美里町白バラ会に対し予算の範囲内で補助金を交付する。
対象（誰、何を）	①会津美里町選挙管理委員会 ②会津美里町白バラ会
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	選挙の啓発活動の実施や研修会等に参加し明るい選挙を推進していく。
成果の考え方	選挙の公正かつ適正な執行が確保される。 投票を呼びかける啓発活動を実施し投票率向上に結びつくよう選挙を推進する。

【成果指標】		**単位**
A	選挙管理委員会の開催回数	回
B	白バラ会の総会、研修会、啓発活動の実施回数	回

2．事業の実績

（1）事業費等の推移

区分	3年度(決算)	4年度(決算)	5年度	6年度	7年度
事業費(千円)	623	655			
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	623	655			

（2）指標の推移　上段：目標値　下段：実績値

成果指標	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
A	8	10			
	14	11			
B	5	5			
	3	3			

（3）活動実績及び成果

活動実績	【選挙管理委員会】公職選挙法に基づく選挙人名簿登録等に関する委員会を開催し、適切な管理に努めた。 【白バラ会」新型コロナウイルス感染拡大防止のため啓発活動を実施することができなかったが、成人式については啓発冊子を出席者に配付することで意識醸成を図ることができた。
成果	【選挙管理委員会】定時登録のほか、執行選挙に伴う委員会を開催した。 【白バラ会】総会は中止となったが事業報告等の書面報告により、役員・会員間で情報共有を図ることができた。 また、明るい選挙推進指導者研修会（オンライン開催）に参加することで、投票率向上に向けた取組事例の把握に努めることができた。

3．最終評価

成果の方向性	現状維持	**（理由）** 現状の取組を継続して進めることで投票率の向上に繋げる。
コストの方向性	現状維持	**（理由）** 現状の取組内容を見ると削減の余地は無いと思われる。
今後の方向性	現状維持	**（理由）** 選挙啓発活動を継続的に進めることで投票率の向上に繋げていく。